

Activity Report

梶井 睦

| | |
|---|---|
| 活動日：2022年4月29日（金） | 活動日数：3日目 |
| 小学校：Preyboeng 5年生 | 人数：11人 |
| 1. 内容 | |
| 13:00～13:45 | ①動物の名前の提示 黒板に動物のイラストを貼り出し、その名前を答えてもらいました。（シーケンシャル・ランダム） |
| | ②動物の数の確認（How many の意味が理解できているかと数字が正確に言えるかの確認 動物のイラスト以外に、ボールのイラストやカップのイラストを見せて数を答えてもらいました |
| | ③ 動物のスペルの書き取り |
| 13:45～14:00 | 休憩 |
| 14:00～14:35 | ④テーブルと猫のイラスト位置の前置詞の確認（under, on） ⑤動物パズルゲーム（梶井が動物名を黒板に書き、その動物の名前のカードを選ぶ） |
| 14:40～14:45 | 今日の復習 動物カードを見せて、その名前を答える |
| 2. 目的 | |
| ・ 前日同様、①②③④とも、学習者たちの英語理解度がわからないので、英語理解度を知る目的で行った。 | |
| ・ ③教科書では位置関係をあらわす一部の前置詞を5年生で習うことになっているので、それを既に習っているかを知るために行った | |
| 3. 使用教材 | |
| ・ ① ⑤ 動物カード | |
| ・ ② 数カード（対象物を複数印刷してその数を答える）動物、ボール、カップ | |
| ・ ③ 書き取りカード | |
| ・ ④ 位置関係カード（猫とテーブルの位置が書かれたもの） | |
| 4. 実施 | |
| ① 動物のイラストを見せて英語の名前を知っているかを聞いた →殆どの学習者が答えられたが、一部、英語名称とクメール語名称を混同していた、また、英語発音ではなくクメール語発音がみられた。 | |
| ② 動物のイラスト、カップのイラスト、ボールのイラスト見せて、何個（匹）か聞いた。 →殆どの学習者が答えられたが、数名の学習者が答えられなかった。数字は答えられることから、how many の意味がわかってないようでした | |

Activity Report

梶井 睦

- ③ 授業の終わりに実施しようと思っていた、サンプル英単語のスペルを記入してもらいました。
→サンプル英単語のスペルを一度見ただけで、あとはスラスラ書ける学習者と逐次サンプル英単語のスペルを見ながら書いている学習者がいました。
最終的に、すべての学習者が全部のブランクを埋めることができました。
- ④ テーブルイラストの上と下に猫が描かれたイラストを見せて、梶井がそれぞれ前置詞の違いを発音と位置関係を示して前置詞の異なる文を提示
→前置詞の違いと位置関係の違いが、今一つわからない様子でした。
- ⑤ 当初のスケジュールにはなかったのですが、④であまり学習者が前置詞の違いが理解できていないようなので、説明を早く切り上げたため時間が余ったので急遽、動物カードを並べて、スペルを黒板に書いて動物カードを選ぶ遊びを行いました。
→これが意外と学習者に好評で、ゲーム感覚で喜んでやらしてもらえました
復習：再度、動物カードを見せて、英語名称と数を答えてもらいました
→もう既に学習しているので、適当に答えている学習者がいました。

5. 学習者の反応（1～5）

- ① : 3 → 3 → 3
② : 3 → 2 → 2
③ : 4 → 4
④ : 2 → 2 → 2
⑤ : 4 → 4 → 3
復習: 2 → 2

Activity Report

梶井 睦

6. 問題点

- ① : 今回は、授業開始時から、ちょっと学習者の集中力が散漫だったところに加え既に学習済みの内容だった事もあり、すべての学習者を集中させることができず、学習者の男の子1名と女の子1名との口論が始まってしまい、梶井なりにそれを収集しようとしてそちらにかかりっきりになっている間に、他の学習者の私語が始まったりして、更に他の学習者の集中力を低下させるに至ってしまいました。
→学習者が勉強に集中できる環境づくりに大きな課題が残りました
- ② : ①で集中力を欠いたので、雰囲気を変えるために、数を答えて貰う授業に移行しましたが、殆どの学習者は授業に集中してもらう事ができましたが一部の学習者は集中力を欠いたままになってしまいました。
→完全に集中力を失った学習者へどのように対応すべきなのか課題が残りました。
- ③ : ①②で集中力が低下した学習者に集中してもらうように、スペルの記入を行ってもらいましたが、直ぐに完成した学習者と進度の遅い学習者の差が大きく、早く終わった学習者同士が私語を開始してしまいました。
→早く終わった学習者が集中できる手段を考えておく必要があると思いました
- ④ : 5年生の教科書の初めの方に載っていたのでやってみましたが、まだ学習していないのか、かなり理解度が低かったです。
→安易な想像ではなく、学習者が教科書のどこまで進んでいるかを調査すべきでした。
- ⑤ : 今回は音楽やダンスを絡めた授業がなかった事と予想外の事が発生したため、時間配分がうまくいかず、時間が余ってしまう結果、急遽思いついたマッチングゲームをやらなければならなくなりました。
→想定外の事が発生しうる事を予想しておくべきでした。

6. 改善策

- ① : 授業の最初から、集中力を高める方策が必要。ただ現状ではどのようにすれば、最初から集中力を高める事ができるかの方策について研究する必要があります。いきなりゲーム感覚の何かを実施するという手もあるかも。
- ② : ①どうよう、集中力を欠いている学習者にどうやって集中させるか、現状では有効な手段が思い浮かばないので、研究が必要です。
- ③ : 集中力回復の手段の一つとしては良いかもしれませんが、学習者の答える速さに差があるので、例えば、より沢山かつ正確にかけた学習者にたくさんのポイントを与えるなど、ポイント制を入れて、全員が終わった時点で、1・2・3位を発表して褒め、それ以外の学習者に早く正確に書くよう促すのも一つの

Activity Report

梶井 睦

手段ではないかと思い、実施してみたいです。

- ④ : 5年生が現在勉強していると思われる内容をやるのにはちょっと無理があると思われるので、しばらくは4年生の復習を中心に行うのが良いのではないかと思います。
- ⑤ : 授業で実施する内容をギリギリにするのではなく、想定外の事が発生する事を見越して、多少余裕のあるスケジュールづくりをしておくようにする。

その他： 1回目、2回目の授業で、音楽&ダンスのウケが良くなかったから、今回の授業ではそれを外しましたが、学習者から、今日の授業ではそれがないのかと指摘があり、以外にも音楽&ダンスを楽しみにしていた事がわかりましたので、次回からは必ずそれらを入れるようにします。